



We Love インターネットで見つけたCOOL&FOOLが大集合 Internet People

このコーナーは、インターネットビブルの皆さんが作るページです。話題のインターネットビブル、ネットワークのこぼれ話、読者のサーフィン情報など、読者のみなさんの投稿と編集部が日頃の取材で集めたネタから旬の話題を提供します。たくさんの人の参加をお願いします。

Let's Access!!

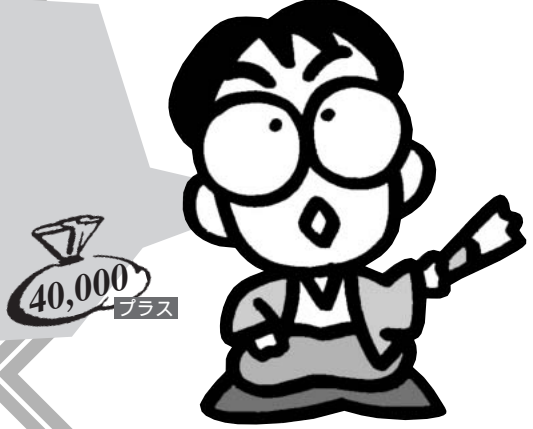
Shouting!

今月の高座

最近、インターネットによる就職活動が活発化していますが、私の会社でも試行錯誤をしながら、インターネットによる採用業務に力を入れはじめました。そんな中で、今年の新入社員から大学でのインターネット活用について聞いてみたところ、大学によって学生の使用条件がかなり違うことを改めて知りました。ある大学では自由に大学のパソコンを使う

ことができるのに、ある大学ではパソコンの置いてある教室には鍵がかかっていて、週に一度ぐらいしか触れないとのことでした。この就職氷河期と言われる時期、もっとも有効な手段であるインターネットを自由に活用できない大学は、いったい何を考えているのでしょうか？

(Masaharu Matsumoto)



編集部



インターネットを採用活動に利用している企業も多くなりました。また、就職・求職情報を提供しているWWWサービスも、インターネット就職倶楽部 (URL <http://www.symphonic.co.jp/ipclub/index.html>)、キャリアインデックス (URL <http://www.careerindex.or.jp>)、リクルートブック (URL <http://job.recruit.co.jp/RB/>) などいろいろあります。しかし、学生がインターネットを使えないのは一方通行ですね。Matsumotoさんの意見とは逆に、システムは整っても学生自身が使おうとしないという意見が寄せられています。みなさんの周りではどうでしょうか。

某国立大学院生
さんの意見



私の学校では必修でコンピュータを勉強させています。1年生のときにクラスを指定して受講させているのですが、大半の学生が単位を取得して授業を終えるとほとんど使おうとしていない状況です。すべての学生がメールアドレスを持っているので電子メールなどを使ってほしいのですが、あまり見かけないのが現状です。他の大学ではメールで連絡を取り合っているという状況なのに、とてもうらやましいです。

(Masaki Tochigi)

Chatting!

声を聞かせて

インターネットを始めて3週間ほやほやの初心者です。始めるまでは、いろいろな雑誌を読みあさり、私にもできるか心配でしたが、始めてみると習うより慣れるでそれなりにインターネットしています。決して簡単とはいいませんが、まだ始めるのに躊躇している方は思いきって始めてみるべきです。自分の世界が広がると思います。ただ、始めるまでは1か月に4時間もつなげば十分と思っていたのですが、始めてみると4時間どころかすでに10時間、課金と電話代が心配です。やはり、月額料金制のプロバイダーにすればよかったと少し後悔しています。



現在、当社では社内メールなどのシステムをロータスノーツで構築しているのですが、そのメールアドレスを持っているのは部長と一部の課長だけ。我々にアドレスを頂けるのはいつのことか? 最近、名刺にメールアドレスを

印刷している人が多いが、当社の計画では1年以上先にならないとそのようなシステムにはならないようだ。それではいけないとビジネスアカウントでもとってメールアドレスを持ちたいと提案したところ、メールアドレスを持つ必要性および効果を文書にして提出せよと言う。対外的に恥ずかしいので、個人のメールアドレスを名刺に印刷している。



某小売店でシステムを担当しています。インターネットやパソコンが新聞に載らない日がないというのに、大半の人がいまだに手書きの企画書や電卓での集計をしているのを見ると、無性に空しくなってしまいます。一体いつまでこのような状況が続くのでしょうか? パソコンもWindowsによってかなり使いやすくなって、「触ってこわしたら大変だ」という意識がまだまだ根強く残っているようです。し

かしそういう人に携帯電話を与えると、うれしそうにして自慢げに使っています。うーん、もう少し時間がかかるかなあ(匿名希望)



インターネットワールドエキスポのパブリックアクセスポイントに行ってきました。確かにネットワークは非常に速く快適なはずなのですが、どうも今一つ。理由はメモリーが足りないためです。最近のJavaやShockwaveをふんだんに使ったホームページを見るには16Mバイトでは不足です。もっとメモリーをいっぱいつんだマシンを置いてほしいですね。ちなみにVRMLまで使おうとすると、どれだけメモリーがあればいいんでしょうね。私の32Mバイト搭載マシンでも、NTTミュージアムの高精細なほうのVRMLを開こうとすると、スワップが200Mバイトくらいまで膨らみます。(橋 大志)



投稿大募集

Shouting!

・声を大にして言いたいこと

Chatting!

- ・あなたのインターネット体験記
- ・読者が作るイェローページ
- ・お気に入りのWWW情報
- ・あなたのホームページのPR

その他新企画へ向けて以下のテーマの投稿を歓迎しています。

(1)猫も杓子もインターネット
ブームゆえに、何でも強引にインターネットに結びつける世の中になりました。「え? インターネットが使える Sauna? マジかよぉー」といった、なぜ、これがインターネットと結びつくのかとあなたが感じたものをレポートして送ってください。

(2)インターネットニュービジネスのアイデア
インターネットでこんなもの売たらどうか、こんなビジネスをインターネットでやりたいんだけど...と思ったら、企画書を書いて送ってください。専門家の意見を聞いて実現できるかどうか考えます。

宛先メールアドレスは

ip-box@impress.co.jp

投稿の際のお願い
インターネットポイントは終了しました。ダイレクトプラスの会員番号を書いてください。投稿していただいた方には、以前の「イン

ターネットポイント」に代わり、「ダイレクトプラス」を発行しています。ダイレクトプラスをためるには、まず、インプレスダイレクトに会員登録をして会員番号を取得する必要があります。方法は366ページに掲載してありますのでご覧ください。

投稿文には必ずダイレクトプラスの会員番号を入れてお送りください。5月13日以降、以前のシステムのとおり #IPID:あなたのメールアドレスを書いて投稿された方には、ダイレクトプラスを発行できていません。心当たりの方は、お手数ですが、再度メールで ip-box@impress.co.jp にご連絡ください。個別に対応します。

CU-SeeMeで結婚披露宴を生中継した

増田真樹・美保夫妻



真樹さん24歳、美保さん26歳

Q：そもそもどんなきっかけでCU-SeeMeで披露宴を生中継しようと考えたんですか。

真樹：僕の勤めている計測技研の副社長のAndrew A.Kirkは、アメリカの事業所にいるんですが、結婚式だけのために日本には来れないと言うので、CU-SeeMeで向こうから祝辞をもらってこちらの状況も送ろうというのがそもそもの始まりです。ほかにアメリカの友達や日本の知り合いでも都合で出席できない人がいますから、そういう人にも参加してもらえたらということでした。結局副社長は来日してくれましたけど。

Q：ホテルでCU-SeeMeをやるとするのはけっこう大変だったんじゃないですか。

真樹：会場の宇都宮グランドホテルはロビーのコーヒーストップにインターネット体験コーナーがあって、ISDNが引いてある



んです。そのゲストブックに「もし私が挙式するときには何か一緒にやりましょう」と書いたりしていたんですが、そのISDN回線を披露宴会場まで引いてもらってマッキントッシュやTAを持ち込んでダイヤルアップでつないで、リフレクターは会社のサーバーで考えていました。

Q：ということは、機材の設定にはそれほど苦労しなかったんですね。

真樹：いや、それが大変でした。NTTの方に会場までISDNを引いてDSUを準備してくださいとお願いしたはずだったんですが、前日に2人で会場に来てみたら、なぜか普通のモジュラージャックが1本来ていただけ。どうしてそうなったか、いまだにわからないんですが、とにかく何とかしなければいけない。ホテルの回線は全部PBXを通っていて使えないので、事務所のファックス用の回線から電話線を50メートルくらい引いて、家からモデムを持ってきて、前日の夜9時くらいにようやく準備が完了しました。

宇都宮に結婚式の披露宴をCU-SeeMeで中継したご夫妻がいるという。インターネットでホームページを公開しているくらいならそれほど珍しくもなくなってきたが、CU-SeeMeでの披露宴中継はおそらく日本初、もしかしたら世界初の試みかもしれない。会場にはマイクロソフト会長のビル・ゲイツ氏からの祝電も届いたという。ひょっとしたら知り合ったのもインターネットなのだろうか。インターネットに生中継されたCU-SeeMe披露宴の一部始終と宇都宮のインターネット事情をお伺いしよう東北新幹線で宇都宮まで出かけた。

Q：当日会場ではどうでしたか。

真樹：CU-SeeMeといっても、当日会場からは一方通行で放送のように流すだけだったんです。最初は会場のスポットライトの電源と共有していたので、ライトが明るくなると電圧が不安定になって、マッキントッシュにリスタートがかかっちゃうんです。会場のマックは壁のほうに向けて置いていましたが、壁が明るくなってくると急に画面が暗くなって、立ち上がる時の音がしてくる。急ぎょ電源の場所を変えてもらいましたが、いろいろ大変でしたね。

Q：CU-SeeMeで見た人の評判はどうでしたか。

真樹：実は、そのあと新婚旅行に行行って、帰ってきてからまだ3日くらいしかたっていないので、20人くらいは見るよと言っていましたけど、誰が見ていたのかわからないんですよ。副社長の奥さんはアメリカで見ているという話は聞きました。

Q：お二人ともインターネットのメールアドレスを持っていますが、知り合ったのはネットワークですか。

真樹：私がパソコンショップのスタッフをやっていたときに、お客さんとして来たんです。美保：そのときはパソコンスクールのインストラクターをやっていたんです。パソコン通信は20歳のときから6年くらいやっていました。インターネットに興味はあったんですけど、主人のお店で見たのが初めてですね。こういうものが、面白いなと思って。

Q：美保さんのパソコン歴を教えてください。

美保：大学のとき西洋美術史を専攻していて、博物館の学芸員になりたかったんです。ゼミの資料を作るのにパソコンを使うようになったんですけど、元々は小学校6年生のときに工業高校の教師だった父がPC-9801VXを買って、中学のときは一太郎とかゲームをやっていました。卒業して地元に戻って博物館に勤めたら周りがみんなマックで、それまではDOSしか知らなかったんだけど、そのときマッキントッシュって素晴らしいと思いました。

Q：真樹さんはいつ頃からパソコンを始めたんですか。

真樹：パソコンは小学校2年生からです。親戚の叔父さんがコンピュータが好きで、TK-80を組み立てたりしていて、そのあとMZ-80K2をその叔父さんが貸してくれて、それですっかりはまったんです。ゲームのリストを見ながら改造したりしていました。母に言わせると、朝8時に起きて電源を入れてから日が暮れるまでやっていたそうです。4年生の頃に病気になるといって取り上げられたんですが、小学6年の頃にPC-8801mark を初めて買ってもらって、中学のときは秋葉原にゲームのプログラムを売りに行ったりしていました。

Q：マッキントッシュはいつ頃からですか。

真樹：パソコンを取り上げられた間も、日曜日には計測技研のショップに行って朝からデモ機の前に座っていたんです。マックは出た当時からそこに置いてあって、ずっ

とほしいと思っていました。でも、高校時代から大学の後半まで、パソコンにはほとんど触りませんでした。マックはずっとほしかったけど、LC系が出てきてようやく買えるようになりました。

Q：それから計測技研に入社したんですね。

真樹：マッキントッシュでハイパーカードスタックのプログラムを書いていて、雑誌に原稿を書いたりもしていたので、そっちの方向に進もうかなとも思っていたんです。そうしたら、計測技研がマンボLCというにLC液晶を付けた製品を出して、こういう発想のできる会社に入るのもいいなと思ったんです。昔からお世話になっていましたし。

Q：計測技研ではどんな仕事をしているんですか。

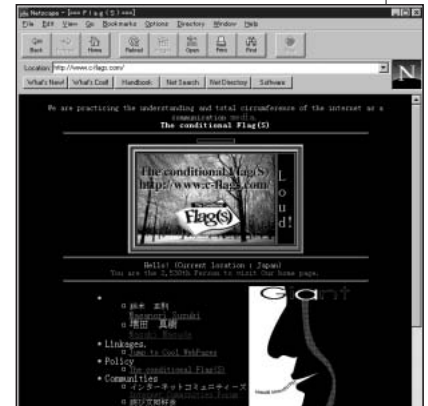
真樹：マーケティングの仕事で、インターネット関係の仕事もやっています。コンテンツの作成とか、ドメインの取得、レンタルサーバーとか。会社としては、インターネットカフェを開いたり、インターネットには以前から力を入れています。94年の暮れには「クリスマスパーティ・インターネットライブ」というのを開いて、会場に5台くらい端末を並べてインターネットの無料体験をやりました。栃木県はシャープとか本田技研とか東芝とかメーカーの研究所が多くて、うちのショップのお客さんでもあるんです。そのユーザーグループの人たちを集めてイベントを開いたんです。

Q：当時としては画期的な試みですね。

真樹：半年くらいして、95年6月にはデパートのフロアの一部を借りて、17台端末を置いて「インターネットライブ95」というのを開きました。全然予想していなかったんですが、5時間で400人くらいの人に来てくれました。それから、10月にベッコアメが宇都宮に初めて回線を開き、今は宇都宮だけでプロバイダーが13ありますよ。

The conditional flagS

URL <http://www.c-flags.com/>



Q：conditional flagSというホームページもやっていますね。

真樹：これは会社と関係なく、個人で始めたページです。ドメインを取得して96年の3月頃にオープンしました。まだ具体的にどういふことをやるかはまとまってはいませんが、インターネットはコミュニケーションの道具として面白いと思っているので、それを提唱しているんなことのできる場にしたいと思っています。僕自身はアート系のことに興味があるので、CG作品などのギャラリーを作ったりもしています。参加する人も増えてきたので、これからはコラボレーションアートとかインターネットを使った交流をいろいろやっていきたいですね。まだスタートしたばかりですから、興味を持った人にはぜひ集まってほしいです。

Q：他にはインターネットでどんなことをやろうと考えていますか。

OCNがスタートして専用線が自宅に引けるようになったら、玄関のドアのところにはカメラをつけて、来客者に会社にいるときでも応対できるようにしてみたいですね。披露宴のCU-SeeMeもそうでしたけど、インターネットはいろんなことができるので、これからやれそうなことは何でもやってみたいですね。昔はプログラムも組んでいたのですが、Javaも使ってみようかなと思っています。

(取材・文=鈴木康之)

Net Surfing!

読者が作るイエローページ

タメになる、タメにはならないがハマる、心温まる、和む、オタクだ、エッチだ、とにかく好きだ・・・あなただけの解釈にもとづくクールサイトの情報待っています。

みんなでみんなをお祝いしよう

URL <http://www.kinokino.com/birthday.html>

みんなの誕生日を登録してみんなでお祝いをしています。同じ誕生日の人を見つけると、ついうれしくなってしまう。登録目標は200万人で、ギネスに挑戦するそうです。みんなで登録してHappy Birthdayを迎えましょう。



映画のセリフが聞けるサイト

URL <http://www.moviesounds.com/>

さまざまな映画のサウンド(主に台詞)を集めたページです。サウンドデータごとの台詞が表示されていて、英語の勉強にもいいかも。データのすべてがこのサーバーにあるわけではなく、他のページのサウンドへリンクしているものも多数あるようです。お気に入りの映画のワンシーンが頭に浮かんできて、「そうか、英語ではこんな台詞だったんだ」と感心してしまいました。



不思議な魅力のゴミバケツ

URL <http://www.coara.or.jp/>

monimoni/my.html

つい1年前までパソコンに触れたこともなかったという作者。ゆえに優越感に浸ることができるのだが、ゴミバケツという名前もユニークで、デザインもなかなかです。私自身、2年近くパソコンに触っているのにタグのタの字も知らないとはちょっと恥ずかしくなってきた。(joy)



老舗のインターネットカフェ?

URL <http://www.inoda-coffee.co.jp/>

昨今はどこでもインターネット流行でインタ

ーネットカフェも雨後の筍のようにできていますが、日本のインターネットカフェといえば、元はパソコン教室に専用線を引いてコーヒーも飲めなくもない、程度の店がほとんどのようです。さて、京都の老舗のコーヒー店であるイノダコーヒーがなんと流行のインターネットカフェに手を出していることに本日気づきました。河原町四条上ルのヨッチャンビルの地下にあるイノダコーヒー河原町北支店が模様替えもせずにInternet Cafe "Link:!" になっています。老舗の内装の喫茶店の中にコンパックが台並んでいるという一種異様な風景が見られます。このように本当のコーヒー専門店が手を出しているのは珍しいのではないのでしょうか? ホームページもあります。



やっぱりプレゼントリンク

URL <http://www.mmt.co.jp/html/ppp/ppp.html>

某新聞の人気投票で上位を独占したように、プレゼント紹介へのリンクページは大人気ですが、有名サイト「とくとくページ」に優るとも劣らぬ情報源を見つけました。日にち別一覧、メ切別一覧と使い勝手もなかなかです。はがきによる投稿ものも含まれていますが、すぐに判別できるので安心? です。



今月の自薦サイト

あなたが作ったホームページや親兄弟親戚が運営するサイトが自慢できるならここでPRしてください。掲載分には20,000プラス発行します。

Javaの視力検査表を作りました

URL <http://www.zzz.or.jp/ichikawa/>



みんなでみんなをお祝いしよう。

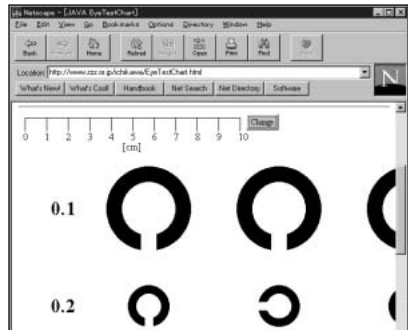
URL <http://www.kinokino.com/birthday.html>

現在の登録者の数は?

Now Stat: Jun 2 06:29:22 PST 1996

kinokino online

インターネットサーフィンとはとにかく目が疲れます。とくに深夜までサーフィンした夜は目がガラガラして、よく眠れません。そして、翌朝まで疲れが残ることがあります。こんなときの目の健康のために、Javaで視力検査表を作りました。



出会いのページへのリンク

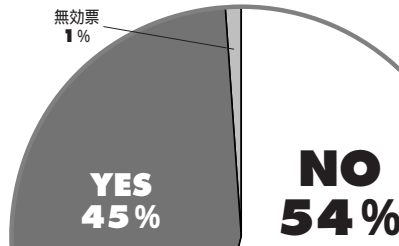
URL <http://www.bekkoame.or.jp/>

ryuta/index.htm

最近、出会いに関するホームページが増えています。しかし、実際に探すとみると、すぐには探さきれないものです。そんなめんどくさがり屋のあなたに代わって国内、海外の出会いに関するホームページを解説つきで大量にまとめてみました。リストは随時追加するので、新しい出会いを求めている人はときどき立ち寄ってみてください。イベントも企画中です。

(Ryuta Suhara)





5月の結果報告

在日米軍は必要だと思いますか？

Yes 必要。日本の防衛のために存在意義がある。

No 米軍基地は不要。撤廃すべきだ。

WWWサーバーで実施している世論調査に寄せられた意見から、一部を紹介します。このほかの意見はインターネットをご覧ください。

URL <http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/yes-no/>

日本人は在日米軍が何の役に立っているか具体的に見ていないのでただ無駄な金を使っていると考えてしまうが、世界規模での軍事的なバランスというはある意味で平和を保つためには必要であると思う。日本は自分ではほとんど何もせずにそれをアメリカに依存しているわけだから、負担するのは当然のことである。今、焦点となっている沖縄への集中的な負担や駐留米軍の規模、在日米軍による犯罪などについてはもちろん泣き寝入りすることはなく、断固とした態度を示すべきであると思うが、日本の防衛という意味ではその存在は今のところ必要なのではないだろうか。(27歳、会社員)

在日米軍を撤廃するとなると自衛隊を増強しなければならない。日本の軍備拡大を防ぐ意味で、米軍の存在意義はある。ただし、基地が沖縄に片寄っているという点は是正しなければならない。沖縄に押しつけるのではなく

他の自治体が基地を受け入れるべきだ。
(19歳、大学生)

変な話だが、今の日本は外圧がなければ迷走してしまう。米軍も一種の外圧ではないか？
(会社役員、40歳)

朝鮮半島や中国やロシアは、日本人が考えている以上に民族として日本に悪意をいっています。現在でも毎日領域侵犯が行われている現実はまだ知らされていません。彼らにとっての仮想敵国は日本なのです。歴史が示す事実として、防衛力なき国々は度々侵略の対象となっています。現在、自衛隊の戦力が限定されている以上、当然、米軍の戦力に依存すべき現実は致し方ないと思います。
(33歳、会社役員)

将来にわたってアジア諸国に対する日本の軍事力強化を懸念させないためにも必要と思う。また、世界情勢を見ても軍備縮小の傾向にあり日本だけが軍備力の拡張を行う必要はない。アメリカなどの既存の軍事力を含めた検討が必要。
(30歳、ソフトウェア技術者)

もし、米国とうまく交渉できて米軍が日本から撤退することになったら、日本が自衛隊を強化しなければならないと考えるのが普通で、それは現在の日本人の意識やアジア諸国の反応から不可能だと思う。かといって自衛力増強なしの米軍撤退は外交が難しくなるだけでまったく現実的ではないと思う。確かに米軍が駐留することのマイナスはあると思うが、その他の選択は現時点では難しいように思う。
(34歳、無職)

YES の意見から

日本の防衛のために自衛隊があるのではなからうか。別に雪祭りのためにいるのではないし、第一、在日米軍が日本のために何を具体的にしてくれたか。私は知らない。周辺の国にらみをきかせ、日本を守るためにいるというのなら、私は自衛隊の増強により、自衛隊がその役目を果たしてもかまわないと思う。しよせん、米軍は「世界の平和はアメリカが守る」というアメリカの自己満足のために駐留しているのであるから、無理にいてもらう必要はない。帰ってもらおう。どうしてもいたいというのなら、日本のためになんて言わないで駐留してほしい。もちろんかかる予算はアメリカが全額出すのだ。
(大学生、23歳)

日本人は憲法9条について真剣に考えるのがめんどくさいから在日米軍に頼っているという気がしてならない。本気で戦力の放棄を守るのなら、いざとなったら国を失っても仕方がない

NO の意見から

というぐらいの覚悟でいるべきである。逆に、やはり現在の国際情勢では戦力の完全な放棄は不可能であるというのなら、それなりの金と犠牲を費やしてでも自前の軍隊を組織すべきである。私は、現実的に考えれば、日本はより自前の軍事力を増強して、アメリカに頼らない防衛政策を採るべきであると思う。アメリカに防衛を頼むことは、主権国家として問題であり、また国際社会において独自の主張ができなくなる可能性が高いだろう。(23歳、大学院生)

誰のための、何のための米軍基地なのか明確でない。また、地域住民の合意を得られていない(少なくとも住民投票で3分の2以上の賛同が必要では?)米軍基地のために日本の税金を使うのはおかしい。
(26歳、大学職員)

第三国と米軍の間で戦争または紛争が発生した場合、日本も攻撃されてしまうのではないかと心配です。
(31歳、公務員)

一方的な日米安保は今後は存続しなくなると思います。日本ももう少し大人になって依存的な安保から脱却したほうがいいと思います。その上で日米のアジアにおける基本的プレゼンスを展開するべきでしょう。またアジアの人にとって日米の安保は過去の日本の過ちを繰り返さない重要なものと考えられています。ただし、自国の防衛を一方的に米国に依存するのは筋違いではないでしょうか。アジアの人たちに脅威を与えずに、自国をどのようにして防衛するかもっと真剣に考える時がきているのではないのでしょうか。(45歳、開業医)

次のテーマ **インターネット**
がなくても生活できますか?



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp